

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 26日

事業所名:ヒューマンサポートセンターcocoro

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動の内容に応じて、環境調整が行える。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・配置基準数より、多く配置し、言語聴覚士等の支援もある。	・退職による職員補充は適宜対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・ホームページへの掲載、また保護者へ書面にて配布周知しており、頂いたご意見は職員全員で共有し業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・会報配布とホームページへ掲	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・今後検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・毎月、年間計画に沿って実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・全職員で子どもの状況等、情報の共有を行い計画に反映させている。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・リーダーを中心にチームで立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・日々の設定活動に加え、季節行事や、伝統行事なども取り入れる工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・平日に行える支援と、長期休みに行える支援は課題、設定等も異なる場合があるので、その際は活動含め細やかに設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・子どもの発達状況に応じて、個別で対応を行うこともあり計画書にも盛り込んでいる。作業療法士、言語聴覚士による個別訓練もあり。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・日々行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・日々行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・職員で子どもの状況を共有しながら判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・原則、児童発達支援管理責任者、クラス担当職員が参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・必要に応じて行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		・対象児がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・必要に応じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		・対象児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・必要に応じて行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	—	—		・戸外活動等で、他児との場の共有時としては機会がある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		・参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・モニタリング等などを通して行っているが、コロナウィルス感染症等により満足に実施に至っていない。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			・必要に応じて、子どもへの対応方法等の共有は行っているが、コロナウィルス感染症等により積極的な実施には至らず。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・必要に応じて行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・コロナウィルス感染症に伴い実施に至らず。今後は状況に応じて開催の検討を行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情マニュアルに沿って対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月のcocoro便りや、ホームページにて活動の様子も随時発信している。	・今年度、ホームページに関しては滞った期間があったので、適宜更新する。
	35	個人情報に十分注意している	○			・HP等への掲載は、個人が確認できないよう配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	—	—		・子ども達の発達状況、特性などを踏まえ左記に関しては検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・各マニュアルは、玄関入口に設置してある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・消防、避難訓練は消防立会いの基、年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年間計画に沿って、実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—		・対象児がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・利用前にアレルギー等の把握を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・発生時は、毎月職員会議等で共有している。	